

Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構（JICA）東北支部

TEL: 022-223-4772 FAX: 022-227-3090

ミクロネシア連邦で海水から飲料水を製造

株式会社いちごホールディングスが宮城県で初めての案件化調査仮採択

国際協力機構（JICA）は9月2日、宮城県仙台市の株式会社いちごホールディングス（宮下雅光社長）による移動式飲料水製造システム導入案件化調査の仮採択を決定しました。

ミクロネシア連邦は607の島々が点在する国であり、水道施設もありますが、降雨量が多く雨水を使って生活をしている人々も多くいます。しかしながら、干ばつや台風の災害があり、水の供給が困難となったり、雨水の利用による水質問題が起きています。

仙台市にある株式会社いちごホールディングスは移動式の小型の飲料水造水システムを製造しており、このシステムにより海水を淡水にすることで安全な飲料水を供給することが可能となります。

今回、同社はミクロネシア連邦にこの造水システムを導入することで、医療施設や学校に給水する可能性を調査します。この調査により、ODA案件化とビジネス展開の実現性が明らかとなり、ミクロネシア連邦における水問題の解決に貢献することが期待されます。



飲料水製造システム（BW-GS10）



（SW-GS10）

※この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。

案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されています。2014年度は本年5月に公示を行いました。

176件の応募のうち26件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。